

# T&M通信

～税務と経営～

## 2021年11月号

### 今月の経営チェックポイント✓

- 来月は年末調整の月です。  
控除証明書等（国民年金、生命保険、地震保険、小規模企業共済等）が発送されてくる時期ですので準備をお願いします。  
令和3年に中途入社された方で、本年中に前職分の所得がある場合は、前職分の「給与所得の源泉徴収票」をご用意下さい。
- 11月、12月決算法人の方は、賞与等決算の対策の準備をして下さい。
- 11月は生命保険の月です。現在ご加入されている保険の見直しや、将来のための備え等、生命保険について考えてみてはいかがでしょうか。
- 11月3日(水)は文化の日、23日(火)は勤労感謝の日です。

### 納税期限スケジュール

- 所得税の予定納税(第2期分)の納期限は11月30日(火)です。
- 所得税の予定納税(第2期分)の減額申請の期限は11月15日(月)です。予定納税額の通知を受けている方で、廃業・休業・業績不振等によりその年の申告税額見込額が予定納税額に満たないと見込まれる場合にはこの減額申請をお勧めします。
- 個人事業税(第2期分)の納期限は11月30日(火)です。



## 着眼点「令和3年度 ふるさと納税に関する変更点」

税理士 亀元 祐希

2021年もあと2か月を残すのみとなり、冬の足音が聞こえてくるころですが風邪などひかれていますでしょうか。私はさっそく乾燥で喉がやられています。さて今回は、年末になると駆け込み申請が増えるふるさと納税について書いてみたいと思います。

今更ですがふるさと納税とは、自分で好きな自治体を選んで寄附することで、所得税・住民税の控除を受けることができる制度です。この控除額は各納税者によってそれぞれ上限はありますが、基本的には寄附金から2,000円を引いた金額になります。さらに寄附をした自治体から返礼品を受け取ることができるため、最近ではこの返礼品目当てにふるさと納税を利用している方も多いのではないかと思います。

このふるさと納税、確定申告の際には寄附した自治体が発行する「寄附金の受領書」を集計して合計金額を計算して申告書に添付と、寄附件数が多くなればなるほど手間がかかっていましたが、令和3年分の確定申告から特定事業者(注1)が各自治体への寄附を1つにまとめた「寄附金控除に関する証明書」

(注2)を発行してくれるようになり、これを確定申告書に添付すれば各自治体からの寄附金の受領書の添付が不要になりました。なお、この証明書は特定事業者のサイトからダウンロードもできますので、e-TAXを利用して確定申告する場合はわざわざ紙を準備する必要もなくなります。ふるさと納税をした

いが、仕組みがよく分からないという方はご相談くださいませ。

最後に、気付いたら年が明けていた（今年の私です）ということにならぬよう、ふるさと納税を利用する予定があれば早めに手続きをお願いします。

注1 国税庁長官が指定した事業者のことで、「ふるなび」や「さとふる」など、有名なふるさと納税サイトの事業者が該当しています。

注2 「寄附金控除に関する証明書」が1つにまとめられるのは同じ特定事業者を利用して複数の自治体に寄附をした場合です。異なる特定事業者でそれぞれふるさと納税をした場合はそれぞれの特定事業者から「寄附金控除に関する証明書」が発行されますのでご注意ください。

## ●年末調整の時期になりました！

早いもので今年も残すところあと2ヶ月になりました。年末が近づいてくると、そろそろ年末調整の時期です。でも、そもそも年末調整って何でしょう？

その歴史は、昭和15年の税制改正で所得税の源泉徴収制度が導入されたことから始まります。源泉徴収とは、雇用主が従業員の給料から所得税を差し引いて給料を支払い、天引きした所得税を雇用主が国に納める制度です。

しかし、雇用主は毎月概算で所得税を給料天引きしていますので、1月から12月の1年間の所得税を確定させる必要があります。そのため、給与所得控除、社会保険料控除、生命保険・地震保険料控除、配偶者・扶養控除等の所得控除をして確定した所得金額に税率をかけて年税額を計算します。年末調整とは、毎月源泉徴収した概算税額と確定年税額との差額を、1年の最後に支払われる給料又は賞与の支払い時に還付又は追徴して精算することなのです。

（文責：田中 恵子）

## ●人間の脳は・・・

「人間の脳は主語が認識できない」という話を聞いたことはないでしょうか。私はつい最近知ったのですが、結構有名な話のようです。

精神活動を担当する脳をA脳、感情を司る脳をB脳とすると、B脳は主語を認識できず、発した言葉を全て鵜呑みにする性質があるそうです。つまり、誰かに「バカ」という言葉を発した時、自分自身に「バカ」と言っていると錯覚し嫌な気持ちになる、逆に誰かを褒めると、自分が褒められたと錯覚し嬉しくなる、という話なのですが、実はこの説には明確な根拠がなく、何かしらの論文で立証されたということもありません。では嘘ではないか、と思われるかもしれませんが、私は一概には嘘だと思えません。かの有名なゴルフプレイヤー タイガーウッズ選手の【勝ちたい時ほど相手の成功を祈る、相手を褒める】というエピソードがあるからです。脳の仕組みを考えてかどうかは定かではありませんが、相手にポジティブな効果を与えようとする、自分自身にも何らかの良い影響を与える、それはタイガーウッズ選手が世界的に有名な一流選手という結果が証明しているような気がしてなりません。

前述の通り、この説には根拠がありません。「嘘だ」と思うことも自由です。ただ、相手を褒めても何も損はしませんし、むしろ友好的な関係の礎になることが多いと思います。その上自分に良い影響を与える可能性もある……良いこと尽くめで何だかお得じゃありませんか？？私はお得に弱い人間なので（笑）、早速実行して身近な人間からどんどん褒めまくっています。皆さんもまずはご家族や近い友人から実践されてみてはいかがでしょうか。

（文責：松原 礼）